

FULL DOUBLE HORN

フルダブルホルン

掲載コンテンツの内容、テキスト、
画像等の無断転載を固く禁じます。



801



6801



※仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがあります。

■ラッカー仕上げについて

ラッカー塗装の材質は樹脂のため、ご使用にともない摩耗したり、剥離する場合があります。また、経年変化により金属が変色する場合があります。
いずれの場合もご使用には影響ありませんが、金属の腐食・摩耗が激しい場合はお買い上げ店または弊社サービスセンターへご相談ください。



ラッカー仕上げ

■ご注意ください

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 小さな部品を誤飲する恐れがあるため、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 針のように鋭い部品を使用していますので、取り扱いには十分注意してください。
- 破損がある場合は、使用を中止してください。

取り扱い説明書

〈ハンス・ホイヤー〉

ホルン



掲載コンテンツの内容、テキスト、
画像等の無断転載を固く禁じます。

BUFFET CRAMPON

株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパン

〒135-0016 東京都江東区東陽4-8-17
TEL.03(5632)5511 FAX.03(5632)5526

営業時間 10:00~18:00(日・月曜日、祝日定休)

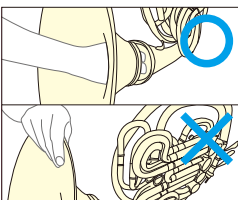
ショールーム	TEL.03(5632)5728
サービスセンター	TEL.03(5632)5524 (※10:00~17:30)

BUFFET CRAMPON

■演奏前の準備

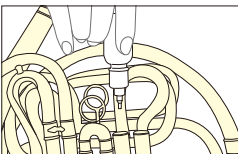
【スクリューベルのセット】

ベルの中央部分を持ってスクリューベルを組み立てます。あまり強く締め付けないようにしてください。



【ロータリーオイルの注油】

1. レバーを押しながら拔差管を取り外し、図のようにロータリーバルブオイルをロータリーにさします。
(1箇所あたり2～3滴)



レバーの動きが悪くなった時に、この注油を行ってください。管体内側についているグリスがオイルと混ざらないように注油してください。

2. レバーを動かし、オイルをなじませます。

【マウスピースの取り付け】

マウスピースを軽く差し込みます。

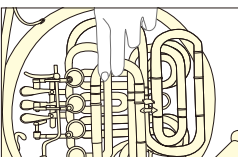
強く差し込むと、抜けなくなるがあるので注意しましょう。

■ピッチの調整

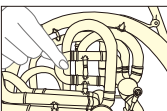
ピッチの調整は、必ず主管拔差管をスライドさせて行います。

ピッチは気温に影響されるので、演奏前に十分に息を吹き込んで楽器を温めてから調整してください。

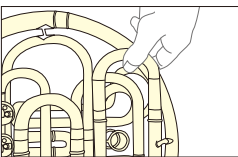
1. 主管拔差管をスライドさせてB^b管を調整します。



B^b管拔差管のある楽器は、主管拔差管を調整後、B^b管拔差管も調整してください。



2. F管拔差管をスライドさせてF管を調整します。



掲載コンテンツの内容、テキスト、画像等の無断転載を固く禁じます。

■演奏前の点検

息漏れをしていませんか？

ウォーターキーのパッドが劣化していると息漏れが生じる場合があります。新しいパッドに交換してください。

ネジ類がゆるんでいませんか？

ロータリーキャップのネジ類がゆるんでいると金属音の原因になります。ネジ類はきちんと締めてご使用ください。

■演奏後のお手入れ

【水抜きとロータリーバルブオイルの注油】

1. レバーを押しながら各拔差管を取り外し、管内の水分を十分に抜いてください。
2. ウォーターキーを持つ楽器は、ウォーターキーからも水分を十分に抜いてください。
3. 演奏前と同様にロータリーバルブオイルをロータリーにさしてください。

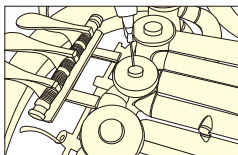
【楽器表面のお手入れ】

楽器の表面をクリーニングクロスでやさしく拭いてください。

■定期的なお手入れ

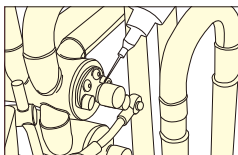
【ロータリーのお手入れ】▶

1. ロータリーバルブのキャップを外し、ロータリーの中央と軸を支えている部分に、ローラスピンドルオイルを少量さします。

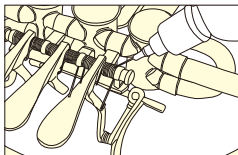


その後、余分なオイルは拭き取りましょう。オイルを指し終わったら、キャップを開けてオイルがよくなじむようにレバーを動かしましょう。

2. ロータリー回転軸と軸受けにも同様に、ロータースピンドルオイルを少量さします。



3. レバーの支持台の軸受け部には、レバーオイルを少量さしてください。



掲載コンテンツの内容、テキスト、画像等の無断転載を固く禁じます。

【各拔差管のお手入れ】▶

1. 各拔差管の古いグリスを拭き取り、新しいスライドグリスを塗ります。
2. 拔差管にグリスをなじませるように2～3回スライドさせてください。

【マウスピースのお手入れ】

マウスピースは、マウスピースブラシに中性洗剤を含ませ、内部にブラシを通した後、きれいな水で十分に洗い流してください。

■楽器の洗浄

管内の汚れがひどい場合や、砂埃などの異物が混入した場合は、弊社サービスセンターまたはお買い上げ店へご相談ください。

■その他

【ロータリー糸の結びかた】

ロータリー糸の巻き付けおよび調整は、初心者には難しい作業です。管楽器技術者にご依頼ください。

掲載コンテンツの内容、テキスト、画像等の無断転載を固く禁じます。

■取り扱いの注意

錆(サビ)に注意しましょう。

トップキャップ、ボトムキャップは水分により錆が生じやすい部分です。キャップを締めたまま長時間放置することなく、定期的に関開閉めをしましょう。

■こんな時は

弊社サービスセンターまたはお買い上げ店にご相談ください。

衝撃でゆがんでしまった。

衝撃を受けると管体がゆがんだり、可動部が変形して動作不良の原因となる場合があります。

異物が取れない。

管内にさまざまな異物(バルブオイル、クロス等)などが入り込み、取れなくなることがあります。

ハンダが外れてしまった。

ハンダが外れていると金属が共振し、異音が生じる場合があります。